

大阪府教育センター カリキュラム開発部 支援教育推進室

子どもの日常の小さな変化に気づくことは、支援の第一歩です。

本分科会では、教員の気づきを出発点に、子どもの実態把握の方法や指導・支援の工夫について考えます。

報告

「通常の学級に在籍する支援が必要な子どもの指導・支援に係る調査・研究 ーガイドブック作成に向けてー」

講演

『子どもの支援に必要な教員の気づきとは？』



©モリジ

～実態把握のポイントと具体的な指導・支援～』

丹葉 寛之 （関西福祉科学大学 保健医療学部 教授）

長澤 洋信 （四天王寺大学 教育学部 准教授）



©モリジ

- ・事例検討をすることで行動以外の要因について考えたり、色々な角度から子どもを見たり、考えたりすることが必要だと感じることができました。
- ・なぜ、子どもがそのような行動や言動をするのか発達段階や身体の使用方など様々な要因について学ぶことができました。
- ・子どもの行動の背景について職員にも広めたいと思います。